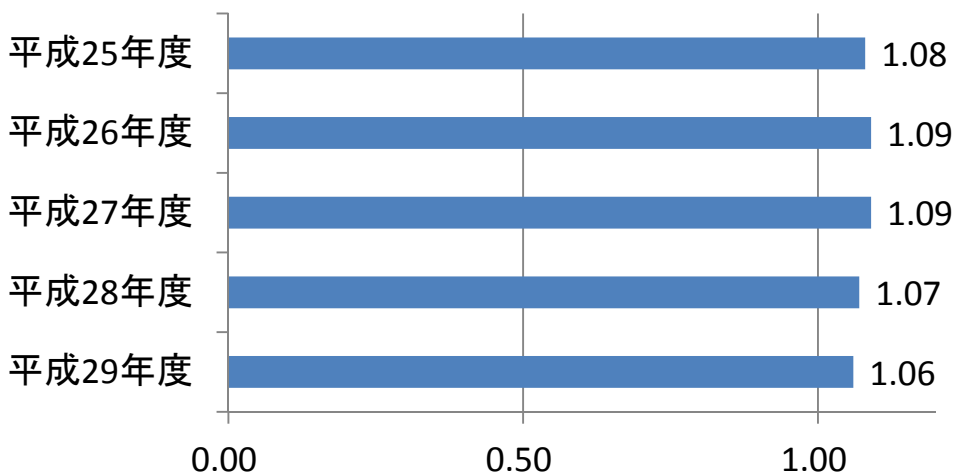




6 患者構成の指標

解説	在院日数の長い複雑な疾患の患者をどの程度診療しているのかを表現した指標です。全国のDPC対象病院の疾患毎の平均在院日数を用いて、各国立大学附属病院の患者構成の違いを相対的に表します。数値は1が全国平均であり、1より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する国立大学附属病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。												
実績	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>患者構成の指標</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>1.08</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>1.09</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>1.09</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>1.07</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1.06</td></tr></tbody></table>	年度	患者構成の指標	平成25年度	1.08	平成26年度	1.09	平成27年度	1.09	平成28年度	1.07	平成29年度	1.06
年度	患者構成の指標												
平成25年度	1.08												
平成26年度	1.09												
平成27年度	1.09												
平成28年度	1.07												
平成29年度	1.06												
定義	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。各年度で公開されたデータから値を取得しています。 平成29年度の数値は、医療機関別の平均値を、平29年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値で除した値となります。 ※算出式「患者構成の指標」＝42大学の「患者構成の指標」の合計÷42												